

**令和元年度 福島県立ふたば未来学園中学校
スーパーグローバルハイスクール事業「ニュージーランド研修」業務仕様書**

1 目的

この仕様書は、令和元年度「福島県立ふたば未来学園中学校 スーパーグローバルハイスクール事業 ニュージーランド研修」業務（以下、本事業）の交通・宿泊等旅行計画の立案・運営業務に関する基本的な事項を定め、この業務の円滑な実施を図ることを目的とする。

2 本事業の概要

今年度4月に本校併設中学校が開校し、1期生が入学した。6年間の中高一貫教育として復興を担う人材育成はもとより、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を目指し、総合的な学習の時間「未来創造学」、学校設定科目「グローバルスタディ科」等で、地域課題解決のための探究活動を行い、福島の魅力や復興を世界に発信することに取り組んでいる。同学習を生かして海外研修で福島を発信し、異文化の同世代に伝えていく過程を通じて資質・能力を育成するとともに、海外の方との情報のギャップやグローバルコミュニケーション力等についての課題意識を、高校段階の学習に繋げていくことが想定されている。

今回入学した1期生には、これからのふたば未来学園中学校を牽引し、国際的な視野を持ったグローバルリーダーとして、今後入学してくる後輩達の模範となることが求められる。そのため、渡航先連携校と協働して中学校1年での海外研修を実施し、今後のグローバルリーダーの育成につなげていく。

(1) 研修概要

① 派遣期間

令和2年3月10日（火）～3月16日（月） 7日間

② 参加予定人員

生徒 9名（男2名、女7名）

引率教員 3名（男2名、女1名）

③ 研修行程

月日（日本時間）	行程	宿泊場所	食事
3月10日（火）	ふたば未来学園～出発空港～ オークランド空港 宿泊先へ移動。 ※（例）NZ90 成田→オークランド 18:30-09:05（3/11）	機中泊	昼：準備 機内食
3月11日（水）	体験プログラム 観光 オークランド博物館（移民と歴史についてのレクチャー ガイドあり） （終日借り上げ車両）	ホテル	朝：準備 夕：準備 昼食は各自負担。 場所を確保すること。

3月12日(木)	借り上げ車両にて学校到着後、オリエンテーション、ホストファミリーと対面、各ホームステイ先へ 1名1家庭	ホームステイ (教員：ホテル)	朝：ホテル 夕：ホストファミリーに依頼する。 昼食は各自負担。
3月13日(金)	終日学校交流(学校の紹介・文化交流や現地授業参加など) 日本語コーディネーターあり	ホームステイ (教員：ホテル)	朝夕はホストファミリーに依頼する。 昼食は各自負担
3月14日(土)	終日ホストファミリーと過ごす	ホームステイ (教員：ホテル)	朝昼夕はホストファミリーに依頼する。
3月15日(日)	ホストの送迎で学校へ オークランド研修 スカイタワー等 ホテルへ(専用車を終日利用)	ホテル	朝：ホストファミリーに依頼する。 夕：準備 昼食は各自負担
3月16日(月)	専用車でホテル～空港～ふたば未来学園 ※(例) NZ99 オークランド→成田 09:50-16:50		朝：ホテル 昼：機内食 夕：準備 場所を確保すること。

(2) 研修内容

① 同世代の生徒との交流(4日程度)

ニュージーランド・オークランドの連携校 Blockhouse bay intermediate を訪問し、プレゼンテーション、意見交換、授業参加等を行う。未来の社会を作る人材としてお互いに研鑽する。現地の中学生との交流活動において、福島の現状を伝えることを通して、福島の魅力や再生の歩みを正しく理解してもらう。

② 現地の住民宅にホームステイ(3泊程度)

家族の一員となる温かい人間関係を築きながら、文化や習慣、物の考え方、地域の活動、また社会の仕組みなど、様々なことを直接学ぶ。

③ 異文化体験等学習プログラム(2日程度)

3 委託内容

(1) 上記研修概要に基づく派遣場所への渡航、国内移動、現地移動、宿泊に必要な手配を行うこと。

① 業務の実施に当たっては、行程において適切な指示を行い、業務全体が円滑に実施されるように十分留意すること。

② 旅行中の事故防止及び不測の事態における対処に最善の努力を講じること。

③ 航空券は直行便とし、航空会社はLCCを除き、渡航の座席については参加者全員エコノミークラスとすること。

④ 宿泊先については、下記の通り手配し、委託料の中から宿泊費用の支払いをすること。

(A) 生徒の宿泊先

・研修先へのアクセスに差し支えの無い立地のホテル(ダブルルームもしくはトリプルルーム可)を確保すること。

- ・ホテルの宿泊部屋については、入り口及び窓等に施錠できること。また、温水が出るシャワールームを確保すること。
- (B)引率教員の宿泊先
 - ・生徒の宿泊先と同じホテル（シングルルーム）を確保すること。
 - ・宿泊部屋については、入り口及び窓等に施錠できること。また、温水が出るシャワールームを確保すること。
 - ・部屋又はホテル内に Wifi 利用環境があること。
- ⑤ 添乗員は同行しないこととするが、訪問先で支障がないように手配を行うこと。
- ⑥ 引率教員が、メール等で日本と連絡を取ることができるよう Wifi ルーターを 3 台準備すること。
- ⑦ 体験プログラムでは、現地文化と観光的魅力の両立について説明できる現地ガイドを手配すること。
- ⑧ 研修行程に特に記載のない移動手段については、公共交通機関を利用することとし、現地で各自が支払うこととする。なお、下記については専用車を手配し委託料の中から支払いをすること。
 - ・学校空港間往復（12名乗車）
 - ・空港宿泊ホテル間往復（12名乗車）
 - ・異文化体験等学習プログラムに係る移動（11日・15日）（12名乗車）
- ⑨ オークランドの Blockhouse bay intermediate 校へは先方への交流依頼済であるが、交流とホームステイが可能な日に関しては詳細を確認し、現地と必要に応じて調整を行うこと。なお、ホームステイ費用は無償である。
- ⑩ ホームステイ期間中、体調が悪くなった生徒用に近隣のホテルを 2 室（生徒と引率者 1 名）確保すること。
- ⑪ 参加生徒及びその保護者、引率教員に対し、事前に「旅行のしおり」を配付すること。
- ⑫ ふたば未来学園高等学校と旅行者・引率教員及び生徒との緊急連絡体制を確立し、連絡手段として現地で使用できる携帯電話 2 台を準備すること。
- ⑬ 出国税・空港税等の諸費用についても委託料から支出すること。
- ⑭ 復路は学校には遅くとも 22 時までに到着する便とすること。

4 研修に係る経費

- (1) 全行程の経費を委託料と定める。全行程とは、3月10日に参加者が学校に参集してから、3月16日に学校で解散するまでとする。

5 成果品

- (1) 令和元年度福島県立ふたば未来学園中学校スーパーグローバルハイスクール事業「ニュージーランド研修」業務完了報告書（別紙様式）
- (2) 旅行等手配の内訳書（行程表、宿泊先手配、交通手段の手配、研修先の手配、宿泊者数、キャンセル料金等の根拠が分かる資料）（様式任意）
- (3) 配付済の「旅行のしおり」

6 契約内容の変更等

- (1) 参加者数の変更等により、契約金額に変更が生じた場合は、変更契約を締結するものとする。
- (2) 本仕様書に定められた業務内容の実施に当たっては、追加の費用負担が生じた場合においても、それが仕様を満たすために当然必要と認められるものについては、原則として受託者の負担とする。

7 その他

- (1) 受託者はここに記載されていない事項についても現場の状況に応じ、誠意を持って対応しなければならない。

- (2) 受託者は、令和2年1月中に参加予定者とその保護者に対して、研修行程、安全対策、保険等に関する説明会を実施すること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、委託者と受託者が協議して定めるものとする。